



浜家連 ニュース5月号

第237号

2020年5月1日発行

発行人 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会
事務局 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752 番地
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3階
電話 045(548)4816・FAX 045(548)4836
URL <http://hamakaren.jp/>

3密を避ける生活の中で

副理事長 稲垣宇一郎

今回の新型コロナ感染症に関連して「感染症の百年周期説」なる話が一部で流布している事を知りました。

1720年にペスト、1820年にコレラ、1920年にスペイン風邪、そして2020年に今回の新型コロナ感染症という内容でした。

それで、調べてみますと、2002年にSARS、2009年に新型インフルエンザ、2012年のMERS、2014年にエボラ出血熱、2016年にジカ熱が流行ったとの事が判りました。

細菌やウイルスが年代を考えて流行らせている訳では無く、「百年周期説」はよくある過去を遡って理由付けをしている事だと思いました。

でも、流行った年代を見ていて気になりました。最近になって感染症の発症数が増えている事です。

感染症は、本来野生動物の宿主の中で存在している細菌やウイルスが、人間との距離が近くなる事で人間にうつるそうです。

産業革命以降は熱帯雨林の破壊、無秩序な都市開発、温暖化等で人間が生態系に与える影響は増しておりますので、人間と野生動物との距離はますます近くなっていると言われております。

新型コロナウイルス感染症は終息後でも、発生させる環境が変わらない限り、また新たな感染症が発生する恐れはあります。

ところで、今回の新型コロナ感染症は今までの社会のあり方を変えていく影響力があると言われる程になって参りました。

問題はどのような変化をもたらすかです。

今、世界の感染者数が多い国の状態を見ますと、(感染者数、医療を受けられている数、雇用を維持できているか等)

弱者と言われる人たちにより厳しい環境の拡大です。

このことは、明日の日本と考えて、変化に備える必要があると思います。

大きな流れの中では、螻蛄の斧と言われるかも知れませんが、このような時こそ、浜家連や家族会の活動がより重要さを増してくると思われれます。世の中の動きを注意深く見て、「どんな時でも、地域で普通に生活できる」社会の実現に努めて参りましょう。

本日現在の私の生活状態に話を戻しますと、3つの「密」を避ける事を最も重要な対策だと自覚し、実践に努めております。

その一方、人と人との距離を広くとる事は、意思の疎通を欠いていく事にもなりますので、どうして補っていけばよいか?について考え、悩んでおります。

皆様どうしておられますか、教えてください。



浜家連の動き



◆2020年度 浜家連研修会及び市民メンタルヘルス講座◆

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、2020年度 浜家連研修会及び市民メンタルヘルス講座のテーマ・講師・日程を以下の通り決定しました。

(1) 浜家連研修会

会 場：横浜ラポール2階 大会議室

時 間：13:30～16:00

開催日	行事名	テーマ名	講 師
9月18日(金)	第1回 浜家連研修会	身体拘束最小化の取組	都立松沢病院 齋藤 正彦 院長
11月20日(金)	第2回 浜家連研修会	親の子離れ 親と子それぞれの立場から	さいたま市精神障害者もくせい家族会 小山 美枝子 氏 YSP 横浜 相沢 隆司 氏
12月 3日(金)	第3回 浜家連研修会	ちょうど良い薬の話	木村病院院長 渡邊 博幸 氏
2021年 2月17日(水)	第4回 浜家連研修会	当事者・家族・医療者がお互いを理解するために今行っていること(仮題)	やきつべの径診療所医師 夏苺 郁子 氏

(2) 第26回市民メンタルヘルス講座

会 場：横浜市健康福祉センター

時 間：13:30～16:00

開催日		テーマ名	講 師
10月 3日(土)	1日目	在宅ケア専門の精神科医療サービス ACT-K チームの実践活動とこれからの精神医療の目指すもの	高木クリニック院長 高木 俊介 氏
10月17日(土)	2日目	オープンダイアログ	みどりの杜クリニック院長 森川 すいめい 氏

※新型コロナウイルスの終息状況によっては日程変更、中止などがあるかもしれません。

神奈川精神医療人権センターの活動が開始されます のぞみ 福井 司臣

神奈川精神医療人権センターの活動が5月16日から開始される予定です。同人権センターは、YPS 横浜ピアスタッフ協会の会員達が大阪精神医療人権センターの活動に触発されて、立ち上げたものです。精神医療においては、入院患者に対する人権侵害の問題、長期入院患者の退院後の地域受け入れの問題、精神科病院の閉鎖性や医療の在り方、医療スタッフと地域支援者との相互理解の必要性など、さまざまな問題が山積しています。

これらの問題は、心の病を持つ家族を抱える私達にとって、切実な問題です。

神奈川精神医療人権センターは、上に述べたような、精神医療にまつわる様々な問題について相談に乗ってくれる機関です。今まで、YPS 横浜ピアスタッフ協会の会員が、色々な人権活動を行ってきたようです。例えば、退院したいとの希望を持ちながらも長期入院(3年)にならざるを得なかった患者を、高齢者のグループホームへとつな

げることが出来ました。そのためには、主治医の説得から始まり、グループホームへの入居までの一連の活動を行いました。また、長期入院患者の元へ定期的に通い、困りごとの相談に乗ったりしています。

同人権センターが正式に発足したら、このような活動を組織として実行することになっていきます。これを実現するために、現在も準備を進めています。継続的な活動に必要な資金の確保、活動を広く知って貰うための広報活動、人権活動に

必須な弁護士の確保などです。資金確保のために、クラウドファンディングを予定しています。これは、インターネットを利用して賛同者に寄付をして貰うものです。広報活動としては、パンフレット、ポスター、ホームページの立ち上げを実行中です。弁護士事務所への挨拶周りもしています。

同人権センターの準備会が発足した頃、浜家連へ協力の依頼がありました。我々の問題ですので、連携してやって行きたいと思います。

すべての国・地域の連帯と信頼を ～新型コロナウイルスの猛威に思う～

あじさいの会 米倉令二



一人の長距離バス運転手の発病から始まって、瞬く間にほぼ全国に拡散した「新型コロナウイルス（COVID-19）」は、私たち、とくに身近に暮らす精神を病んでいる人たちの生活にどのような影響を与えているのでしょうか。我が家の当事者は引きこもり状態なので、当初は「俺は安心だ」との認識でしたが、情報が多くなってきた昨今、郵便物、宅配便、新聞などに触れた後、丹念に手洗いをしています。これなら安心ですね。

人類が地球を宿主として増殖を始めてから、100万年を超えているでしょうか。たくさんの生物が、直接間接に地球に寄生しています。新種が現れては消えてきました。もっとも有名な出来事は恐竜の絶滅です。小惑星の衝突による気候変動が原因と言われています。現生人類の仲間も絶滅しています。地球滅亡前に人類が滅んでしまうこともあり得ることで。

武漢封鎖の報道を聞いて、とっさに思い出したのは、ノーベル賞作家アルベール・カミュの「ペスト」でした。カミュの「異邦人」、サルトルの「嘔吐」は、私の年代の者の青春時代のバイブルでした。「ペスト」は名前を聞いた程度で読んだ記憶はありませんでしたが、2・3年前でしたか、Eテレの「100分で名著」で取り上げられ、最近再放送もありました。複雑な作品です。上っ面だけ言うと、フランス植民地アルジェリア第2の都市オランがペストに襲われ、多大な犠牲をはらいながらも市民の連帯の力で、とりあえず制圧するというものでした。

さて、新型コロナウイルスのひろがりはどこまで続くのでしょうか。中国は制圧したといっているようですが、詳しい情報は開示されていません。科学的な裏付けをベースにした詳細な情報開示をするべきです。全世界の国・地域が、ナショナリズムにとらわれず、WHOを中心に連帯と信頼を強め、新型コロナウイルス制圧のため力を結集する時だと思います。

家族会運営で困っています

みなと会 安富 英世

みなと会（中区）も、浜家連はじめ他区の家族会同様、新型コロナウイルスに翻弄され、先の見通しが見えない状況にあります。緊急事態宣言が

発令され、家族会会員から当事者の様子を聞き、会員間で共有することのできない状況が2ヶ月以上続いています。

みなと会では、第3月曜日に例会を実施。その2週位前に、会報「みなと会」だよりと『浜家連ニュース』等を同封して会員へ郵送しています。

3月の浜家連理事会、常任理事会は、横浜市ガイドに従って、開催されませんでした。

それにならい、3月のみなと会会報には、3月の例会と18日の市民メンタルヘルズ講座の中止を告知しました。

それでも、2月27日の首相からの突然の要請（全国の学校の臨時休校）の期限が春休みまでなので、4月になれば事態は好転し4月20日にはみなと会定期総会を実施する方向で考えていました。結果的に、これは判断が甘かった。

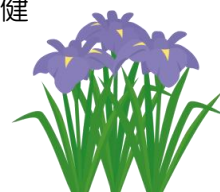
既述の通り3月下旬の常任理事会は開催されず、横浜う・ポールまで行って『浜家連ニュース4月号』を事前入手。会報、浜家連ニュース、総会資料一式（体制、2019年度の例会実施報告、決算報告、2020年度の例会実施計画、予算案）、家族会を新年度も継続するか、総会に出席できるかどうかの意向伺いの葉書同封で、4月6日、会員に郵送。また、総会冒頭、福祉保健センターの係長からご挨拶をいただく段取りも整えました。

4月7日に緊急事態宣言が出されたのとほぼ同時に総会開催案内が会員に届いたこともあって、回答葉書での総会出席希望者は会員（約20名）中数名でした。それだけ、会員の方々はウイルスに関心をよせ用心されているということを変更して認識し、出席予定者には総会を行わない旨電話連絡しました。

新型コロナウイルスの地球規模での蔓延と、国内での死者数の増大、頻発する院内感染、医療崩壊の懸念等から、状況は非常に深刻です。

5月以降は、家族会の今までのやり方は通用しないことを痛感。「自宅にいて」という外出自粛、多人数での会合はまず無理と判断されますので、ひとまずゴールデンウィーク明けに、電話等で会員の様子のご意見を伺おうと考えています。そこから、これからの家族会運営をどうするか考えたいと思います。

偶々Webで見つけた斎藤環氏の、「健やかにひきこもる」などを、会報で紹介してみようと思っていますが、何か会報に掲載するのにふさわしい題材があれば、当方にご教示ください。



【事務局から】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、そして非常事態宣言の発令を受けて、これからの浜家連の予定は次のようになります。

- 5月の三役会議は4月28日（火）に行います。理事会、常任理事会は中止となりました。
- 総会を行わず、書面決議により総会議案書の決議を行います。
書面決議の方法についての詳細は、常任理事さんを通じてお知らせします。皆様にもありますので、ご協力をお願いします。
- 6月以降については新型コロナウイルス感染等、状況を見ながら決めていきます。
- 政党への2021年度予算に向けた精神保健福祉施策要望については、要望書の提出だけで懇談会は行われません。

【編集後記】緊急事態宣言が発令され、我々の暮らしが一変しました。家の中にいることを強いられ、ストレスが日々高まっているようで、DVや心の問題の相談が多く寄せられているとか。家で日々穏やかに暮らすにはどうしたらいいの？

以前、テレビで見た永平寺で座禅に打ち込む禅僧の映像を思い出しました。この映像のなかに「何かヒントがあるかもしれない」と感じました。
(事務局 中居)